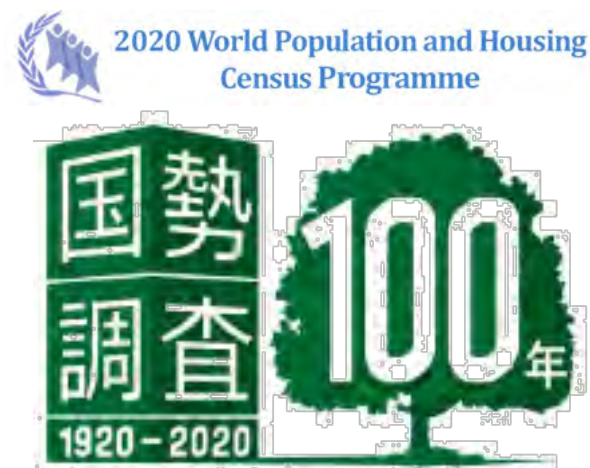


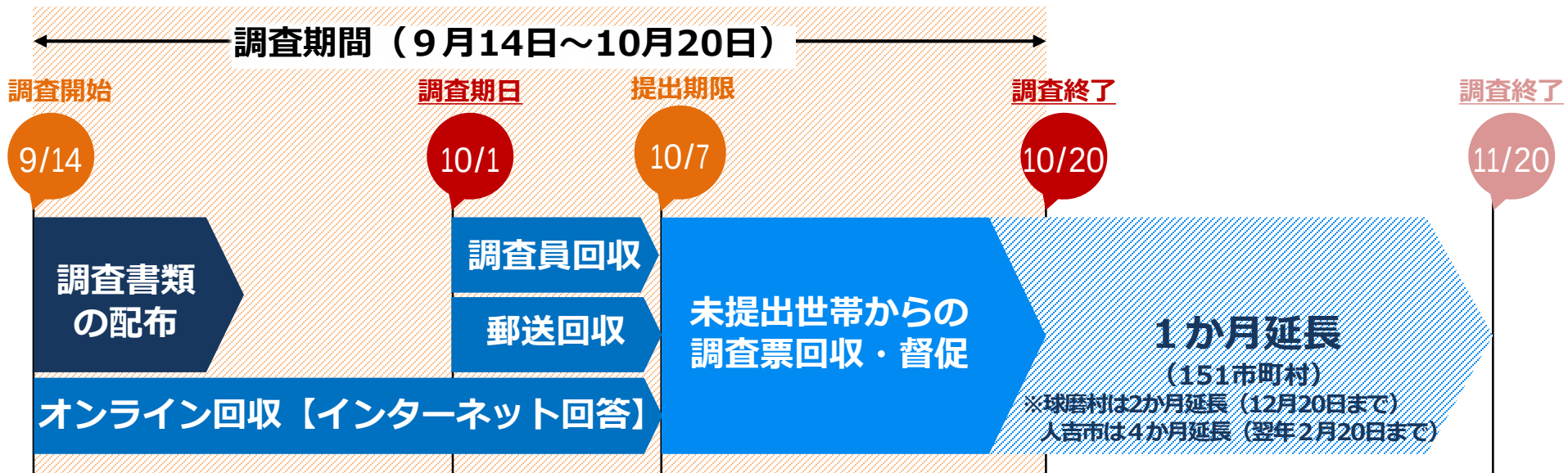
令和2年国勢調査実施状況（実査編）



令和3年6月
総務省統計局国勢統計課

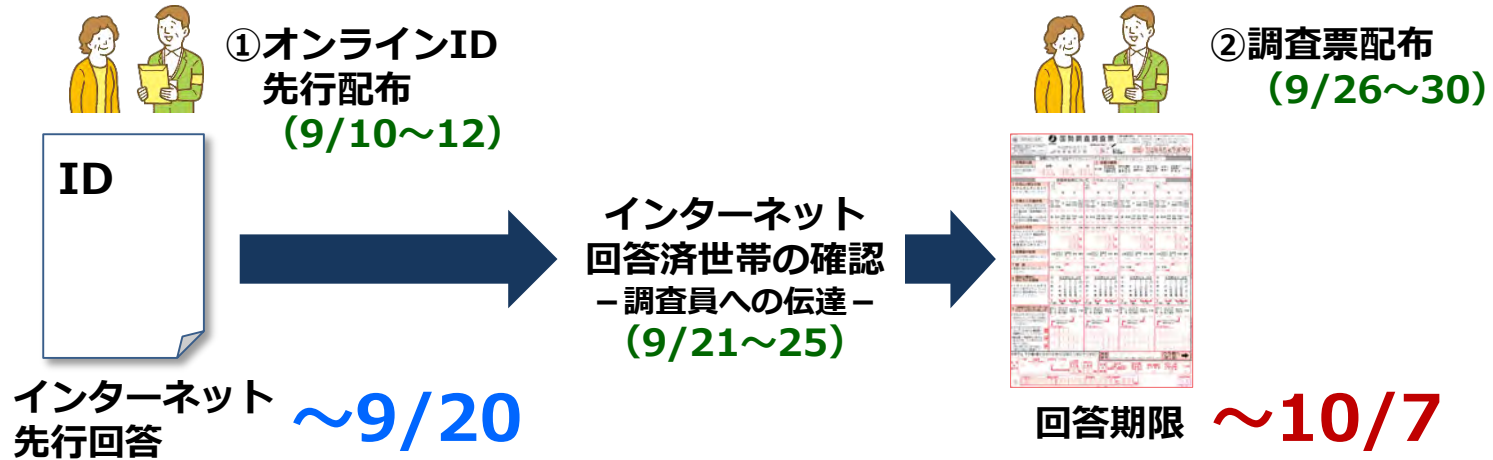
令和2年国勢調査の実施概要

調査期日	令和2年（2020年）10月1日（木）午前零時現在
調査対象	令和2年（2020年）10月1日現在、我が国に常住するすべての人（回答義務有り）
調査方法	調査員が全世帯を訪問し、面接の上で調査票等の調査書類一式を配布 調査票の回収は オンライン（インターネット回答）、郵送、調査員
調査期間	令和2年9月14日～10月20日（調査票の提出期限は10月7日） 新型コロナウイルス感染症・7月豪雨の影響により153市町村で調査期間を延長 ・151市町村において1か月延長（11月20日まで） ・球磨村 2か月延長（12月20日まで）※調査書類の配布開始を11月14日に延期 ・人吉市 4か月延長（翌年2月20日まで）※調査書類の配布開始を翌年1月14日に延期



調査方法の変更点

オンラインID先行配布方式（前回調査）



オンラインID同時配布方式（今回調査）



非接触の調査方法の導入

新型コロナウイルス感染症の発生・感染拡大を防止するため、都市部を中心に、世帯と調査員が対面しない非接触の調査方法（調査書類の配布や調査票の回収）を地域の実情に応じて導入

※調査員の事務の簡略化にもつながる

調査書類の配布

本来は、世帯の方と面接・説明の上、調査回答を依頼するとともに、調査書類を配布



説明はインターホン越しに短く行い、郵便受け等を使って、世帯と面接せずに調査書類を配布



※調査員は、検温、手指消毒等の感染防止対策及び熱中症対策を徹底し、世帯訪問時はマスクを着用（対面の必要が生じる場合は身体的距離を確保）

調査票の回収

インターネット回答の積極的な活用を推進するとともに、インターネット回答が難しい場合は調査員と接触しない郵送提出を広報啓発活動を通じて依頼



できる限り調査員と世帯の接触を避けていただくよう広報啓発活動を展開



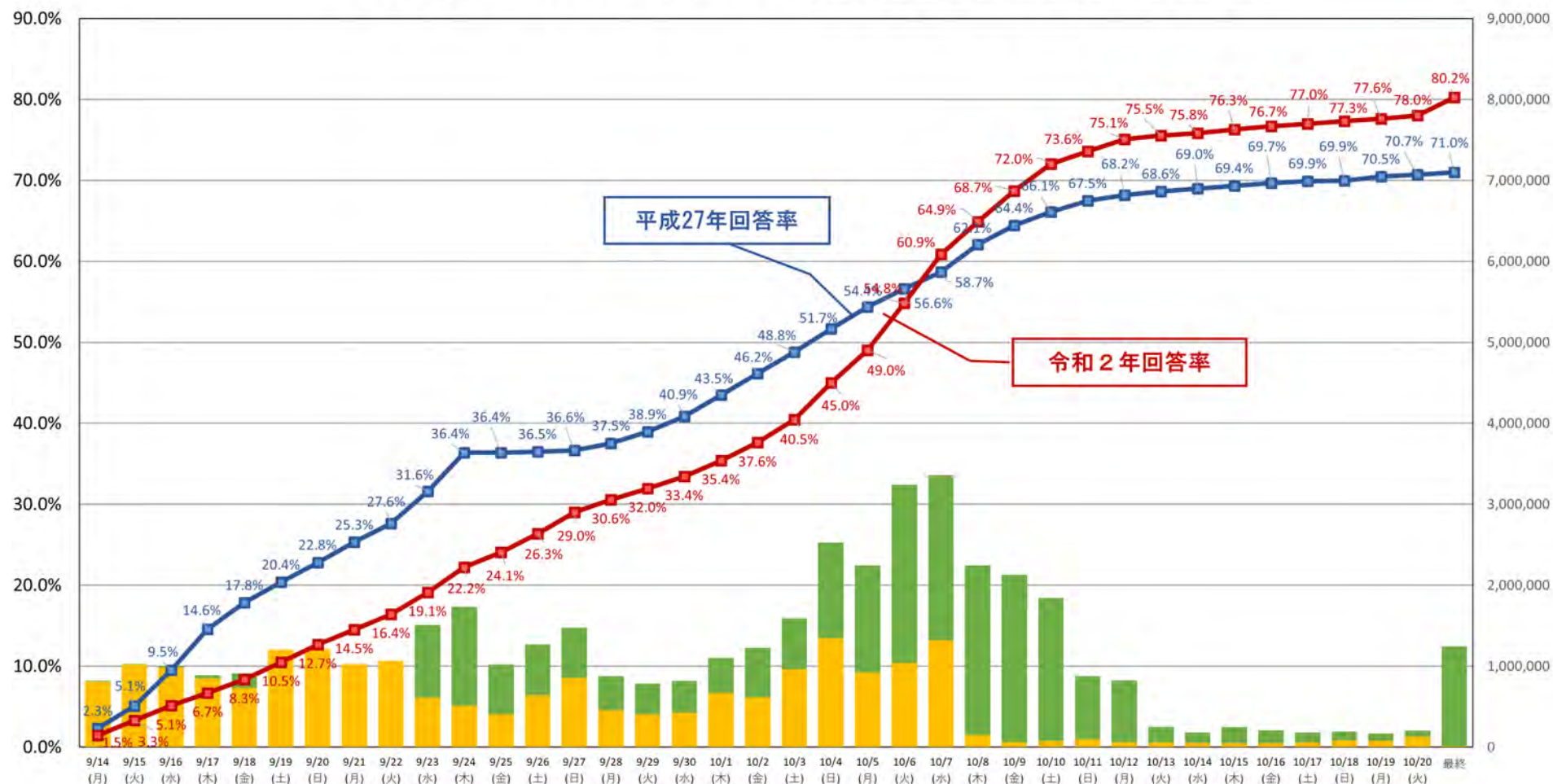
令和 2 年国勢調査回収状況

	平成27年 (最終結果)	令和 2 年 (暫定値※)
合計	71.0%	80.2%
インターネット	36.9%	37.9%
郵送	34.1%	42.3%

※人口速報集計結果の世帯数を基に算出した回答率

令和 2 年国勢調査回収状況

国勢調査 インターネット・郵送回答状況（平成27年・令和 2 年）



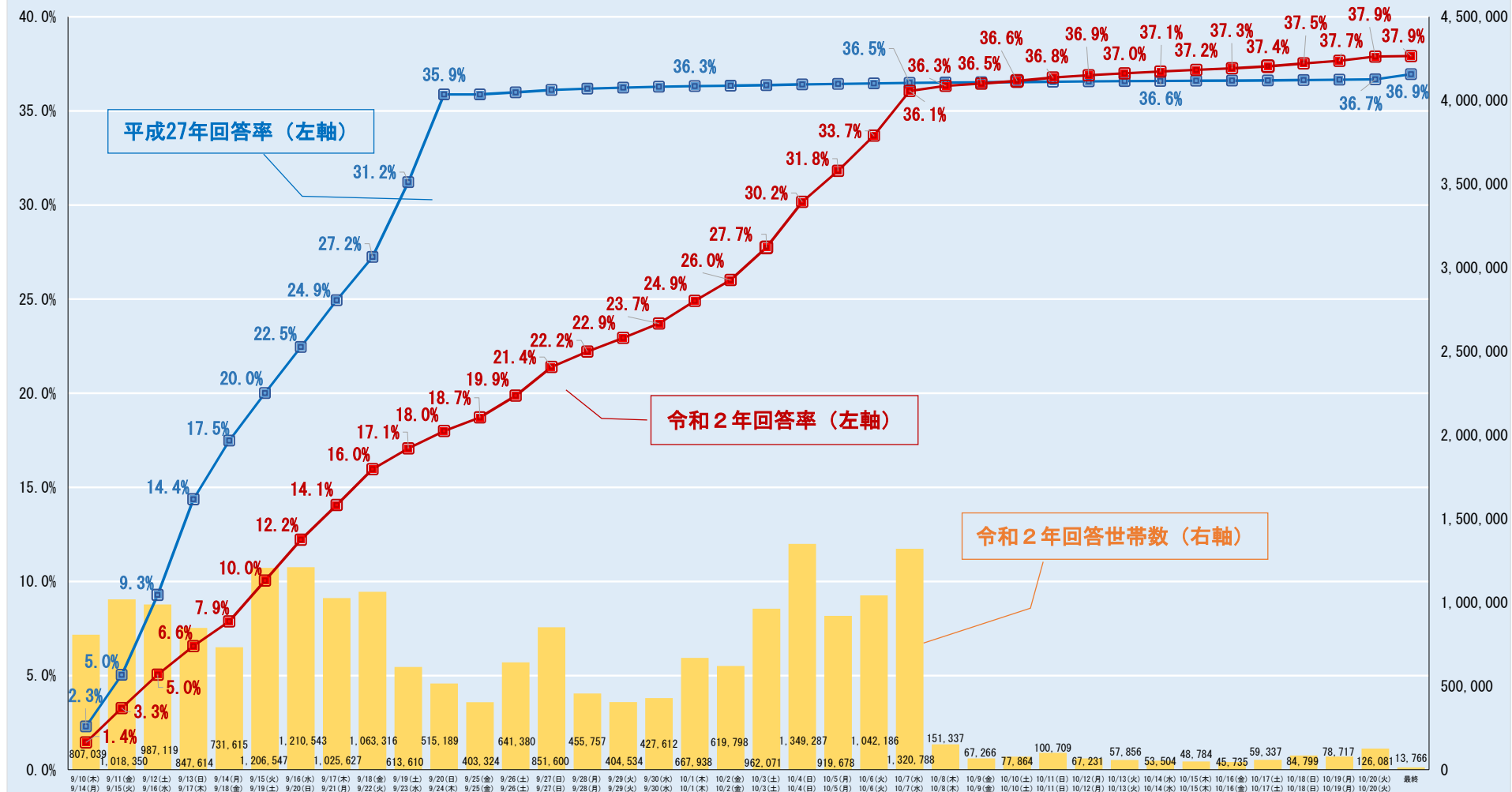
※1 平成27年は、インターネット回答用IDを先行配布の上、インターネット回答が確認できない世帯に紙の調査票を配布。令和2年は、紙の調査票とインターネット回答用IDを同時配布

※2 令和2年の回答率は、人口速報集計結果の世帯数を基に算出した暫定値

※3 令和2年の最終は、調査期間終了時点の暫定値

令和 2 年国勢調査回収状況

国勢調査 インターネット回答状況（平成27年・令和 2 年）



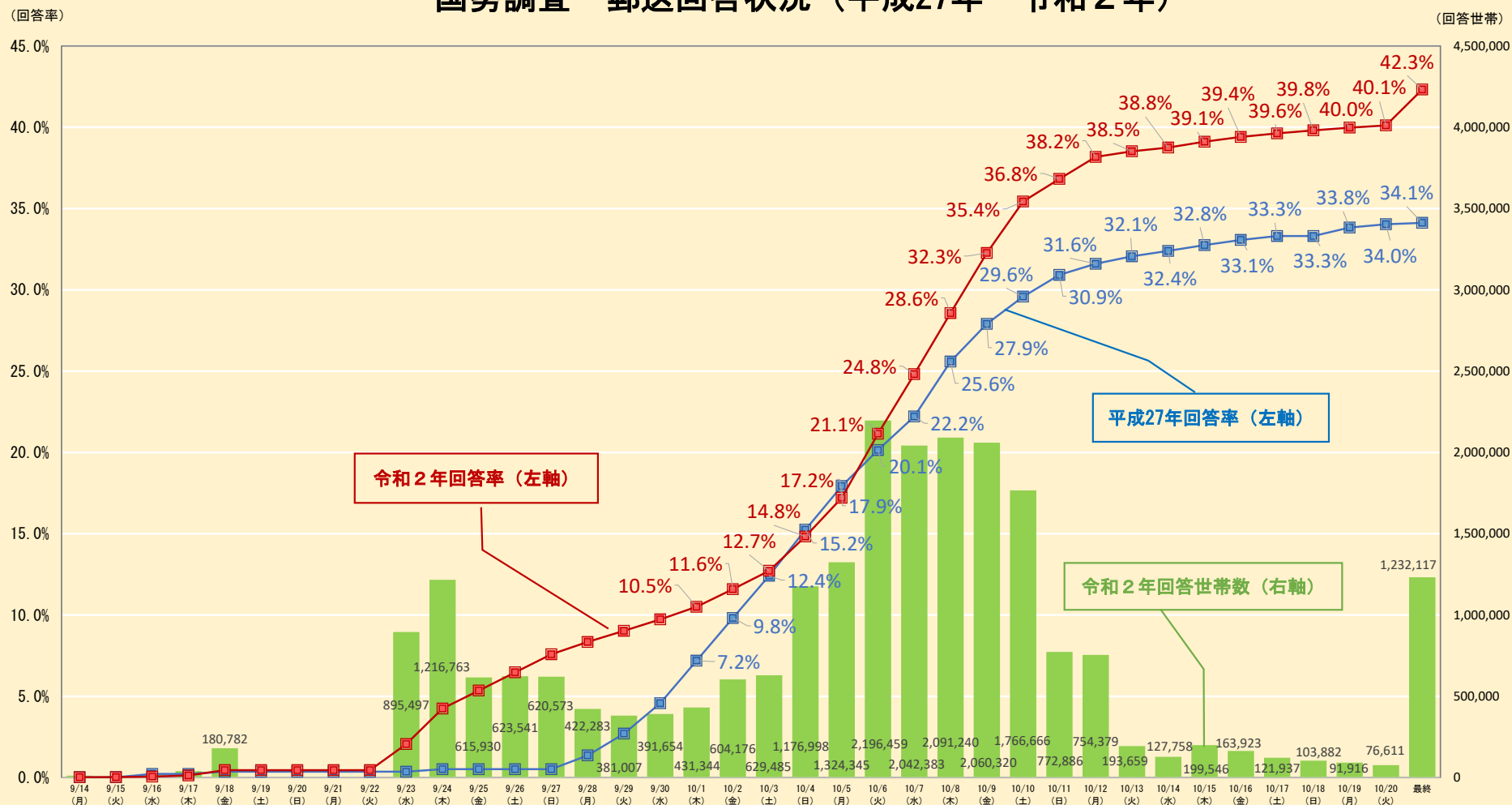
※1 平成27年は、インターネット回答用IDを先行配布の上、インターネット回答が確認できない世帯に紙の調査票を配布。令和2年は、紙の調査票とインターネット回答用IDを同時配布

※2 令和2年の回答率は、人口速報集計結果の世帯数を基に算出した暫定値

※3 令和2年の最終は、調査期間終了時点の暫定値

令和 2 年国勢調査回収状況

国勢調査 郵送回答状況（平成27年・令和 2 年）



※1 平成27年は、インターネット回答用IDを先行配布の上、インターネット回答が確認できない世帯に紙の調査票を配布。令和2年は、紙の調査票とインターネット回答用IDを同時配布

※2 令和2年の回答率は、人口速報集計結果の世帯数を基に算出した暫定値

※3 令和2年の最終は、調査期間終了時点の暫定値

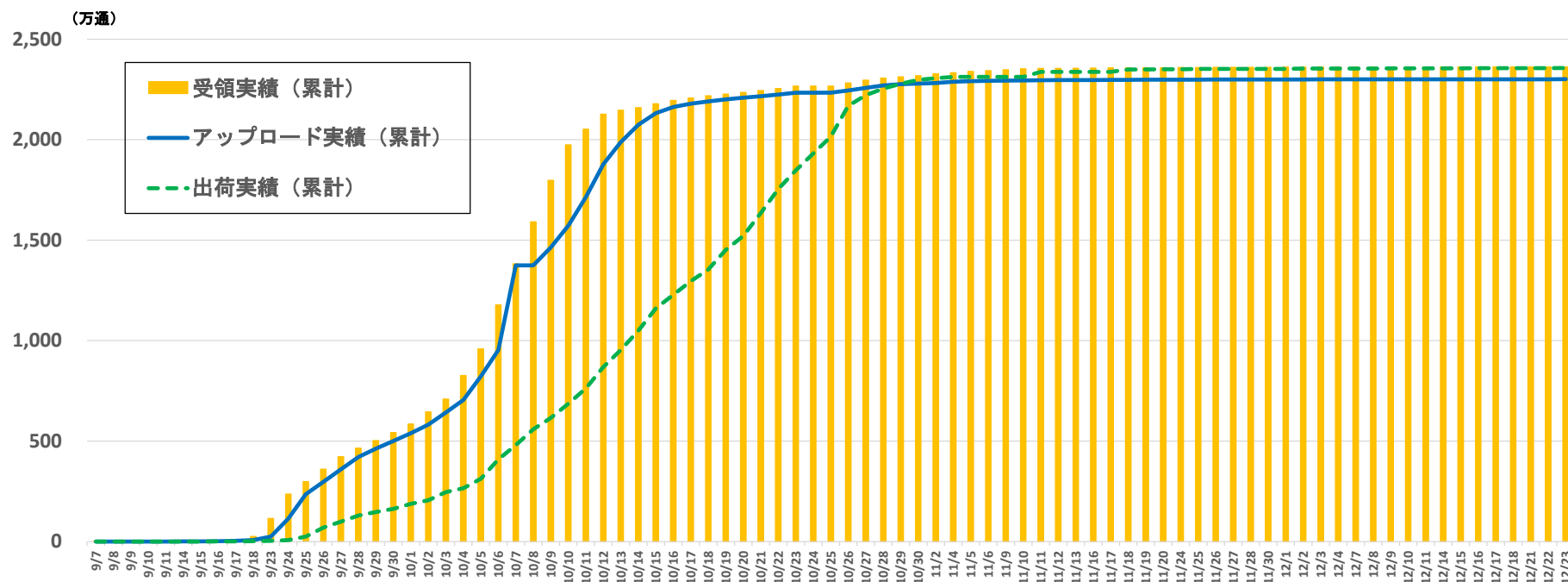
民間サポートの実施状況

業務内容

世帯から郵送で提出された調査票の受付
郵送提出用封筒に印字されたQRコードの読み取り・システムへのアップロード
郵送提出用封筒の市町村仕分け・出荷

実施期間

令和2年9月7日（月）～12月28日（月） 3拠点で実施



- 期間中の受領数は23,627,867通（QR読み取り可能：23,010,959通 QR読み取り不能：616,908通）
- 民間サポートに届き次第、アップロードを行ったものの、世帯が郵便ポストに投函してからの日数を勘案するとかなりの日数を要した。
- 当初の予測通数（2,000万通）を大幅に上回る結果となり、アップロードを最優先とする対応としたため、出荷について大幅な遅滞が生じた。

国勢調査コールセンターの実施状況

業務内容

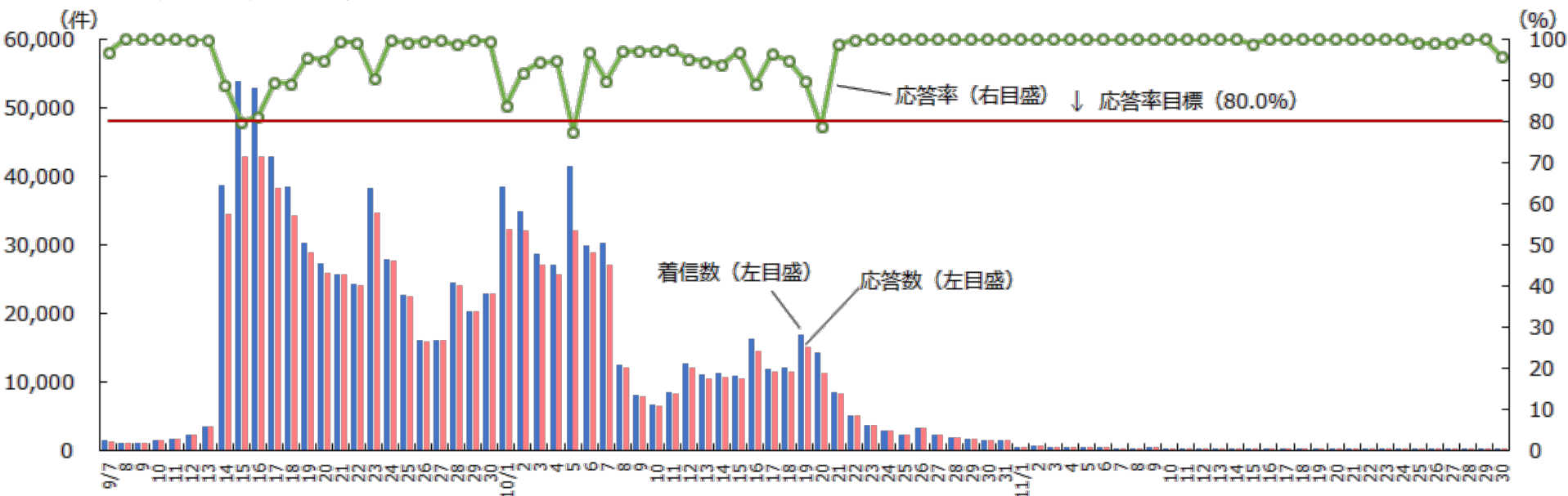
- 調査に関する世帯からの照会対応
- オンライン調査に関する技術的な照会への対応
- 調査員事務に関する調査員からの照会対応

実施期間

- ① 世帯用 : 令和2年9月7日(月)～11月30日(月)
- ② 調査員学習用※ : 令和2年8月7日(金)～11月23日(月)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、調査員説明会が短時間での開催となることを踏まえ設置

I 世帯用コールセンター



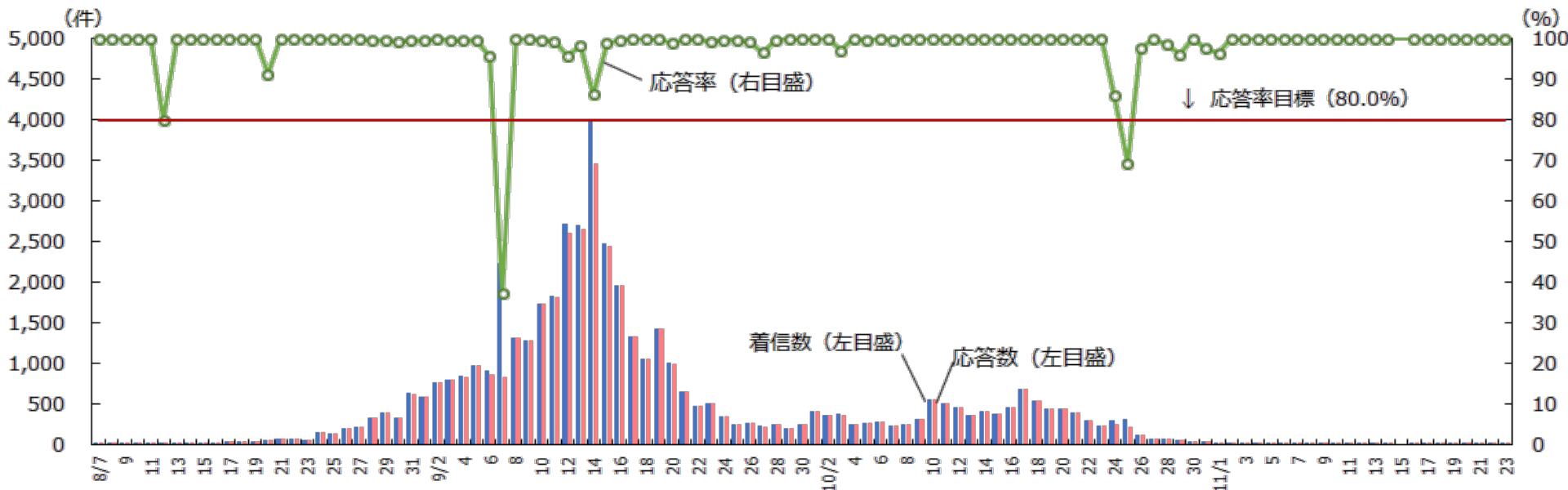
【総着信数】958,266 件(前回調査比: ▲34.8 %)

【総応答数】880,550 件(前回調査比: ▲30.9 %) 【応答率】91.9 % (前回調査比: +5.2 ポイント)

※平成27年調査 【総着信数】1,470,196 件 【総応答数】1,274,772 件 【応答率】86.7 %

国勢調査コールセンターの実施状況

Ⅱ 調査員学習用コールセンター



【総着信数】 48,256 件 (前回調査比 : ▲62.3 %)

【総応答数】 45,825 件 (前回調査比 : ▲53.0 %) 【応答率】 95.0 % (前回調査比 : +18.8 ポイント)

※平成27年調査 【総着信数】 128,066 件 【総応答数】 97,533 件 【応答率】 76.2 %

Ⅲ 令和2年調査における新たな試み

① 三者間通話

三者間通話での対応件数は1,067件

言語別の割合でみると、ポルトガル語が51.1% (545件)、次いで英語が23.6% (252件)、スペイン語が12.9% (138件)、中国語が6.9% (74件) などとなっている。

② 有人チャット

全期間を通して53件

令和2年国勢調査 調査方法

郵送回収方式の選択

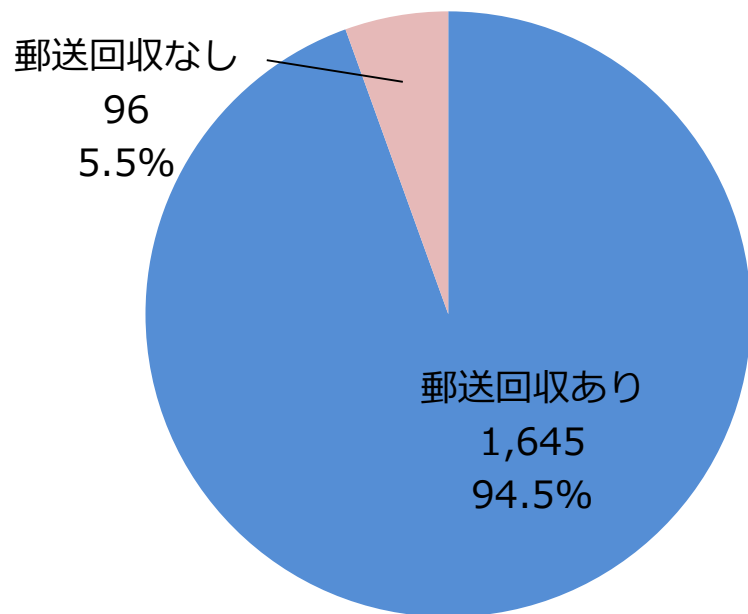
- ・市町村ごとの選択制とし、「郵送回収あり」を選択したのは 1,645市町村（94.5%）
「郵送回収なし」を選択したのは 96市町村（5.5%）

※新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、当初「郵送回収なし」を選択した169市町村のうち、73市町村が「郵送回収あり」に変更

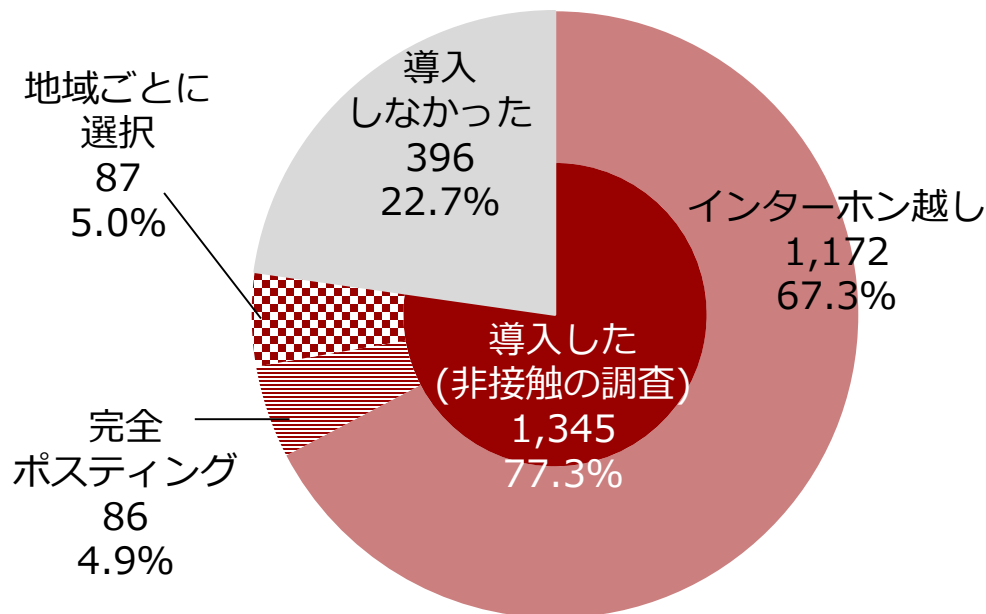
非接触の調査方法の選択

- ・非接触の調査方法を導入したのは 1,345市町村（77.3%）、導入しなかったのは 396市町村（22.7%）
- ・非接触の調査方法について、インターホン越しでの対応としたのが1,172市町村（67.3%）、
完全ポスティングでの対応としたのが86市町村（4.9%）、地域ごとの選択としたのが87市町村（5.0%）

郵送回収方式の選択 – 市町村



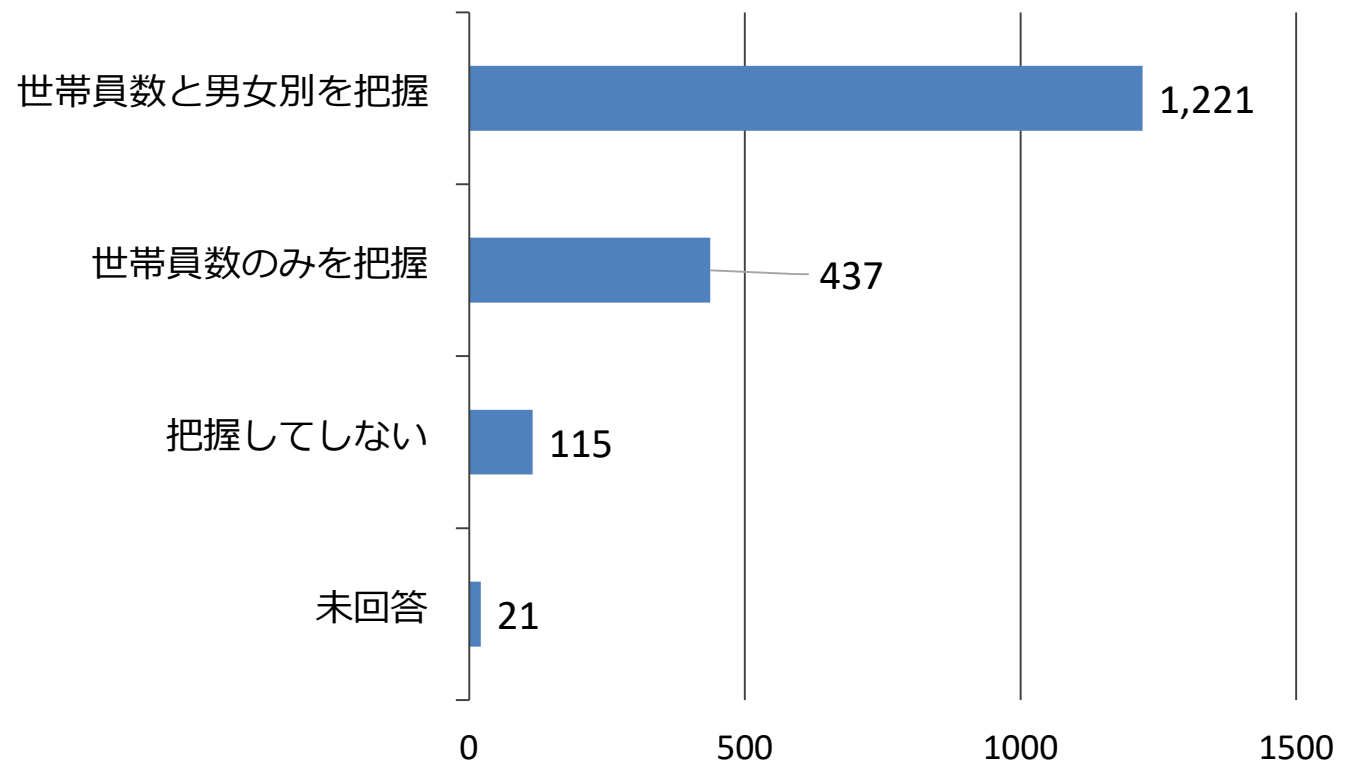
非接触の調査方法の選択 – 市町村



調査票配布時の世帯員数の把握状況

- ・世帯との接触を最小限にするため、「男女別」の世帯員数の把握については、配布時に聴取しないことも可能とした。
- ・配布時に男女別の世帯員数を把握したのは 1,221市町村、世帯員数のみを把握したのは 437市町村

調査票配布時の世帯員数の把握状況 - 市町村

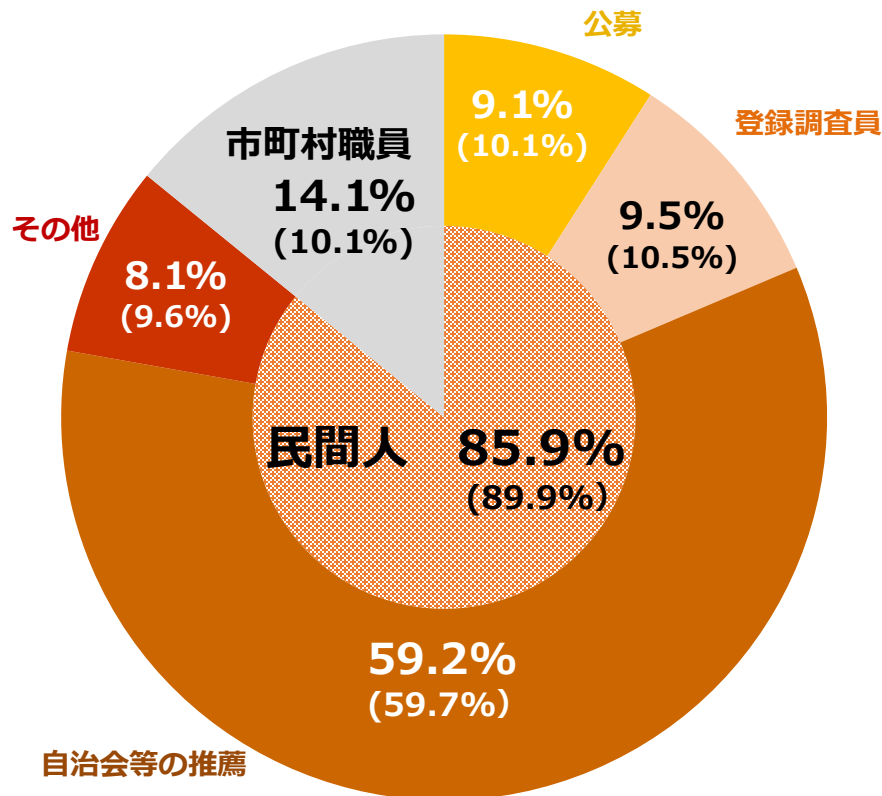


※複数回答あり

調査員の任命状況

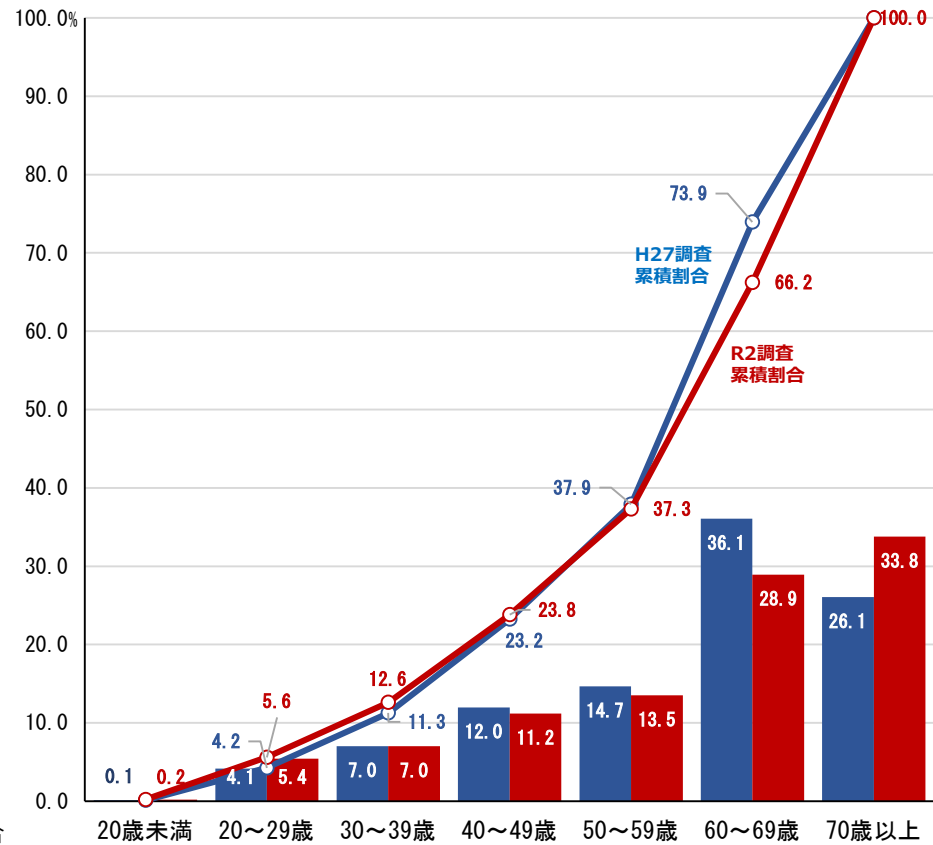
- ・ 国勢調査の調査員数は、全国で約61.4万人（当初予定70万人）
- ・ 約86%は民間からの登用で、自治会等の推薦が最も多く約6割
- ・ 60歳以上が6割強。70歳以上は3割強で前回から増加

調査員の選考方法別状況



※ () 内は前回調査（平成27年調査）の割合

調査員の年齢階級別状況



平均受持ち調査区数

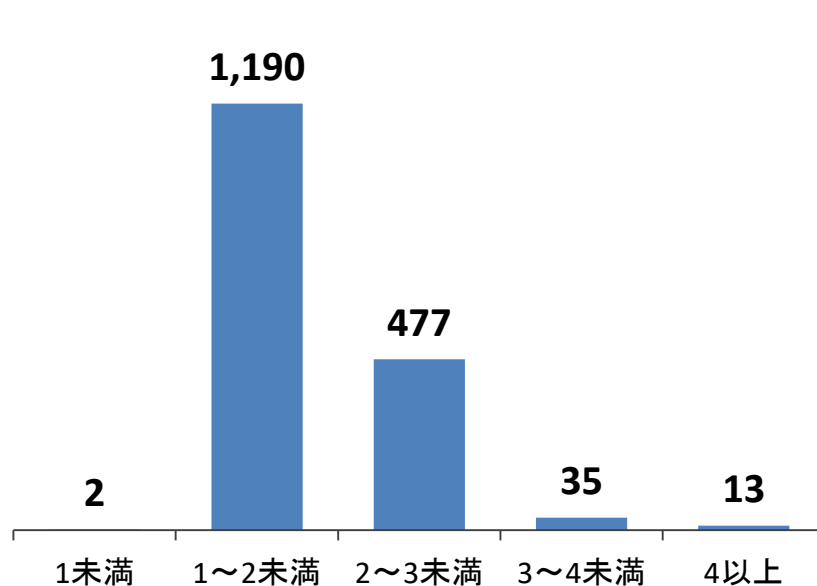
調査員

- ・ 1 調査員当たりの平均受持ち調査区数は 1 ～ 2 未満が1,190市町村、 2 ～ 3 未満が477市町村

指導員

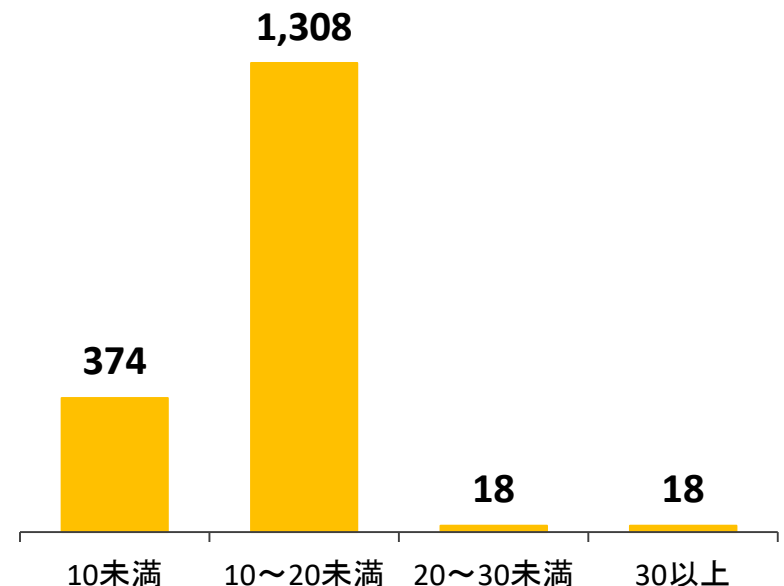
- ・ 1 指導員当たりの平均受持ち調査区数は 10 ～ 20 未満が1,308市町村、 10 未満が374市町村

調査員の平均受持ち調査区数 – 市町村



※有効回答数：1,717

指導員の平均受持ち調査区数 – 市町村

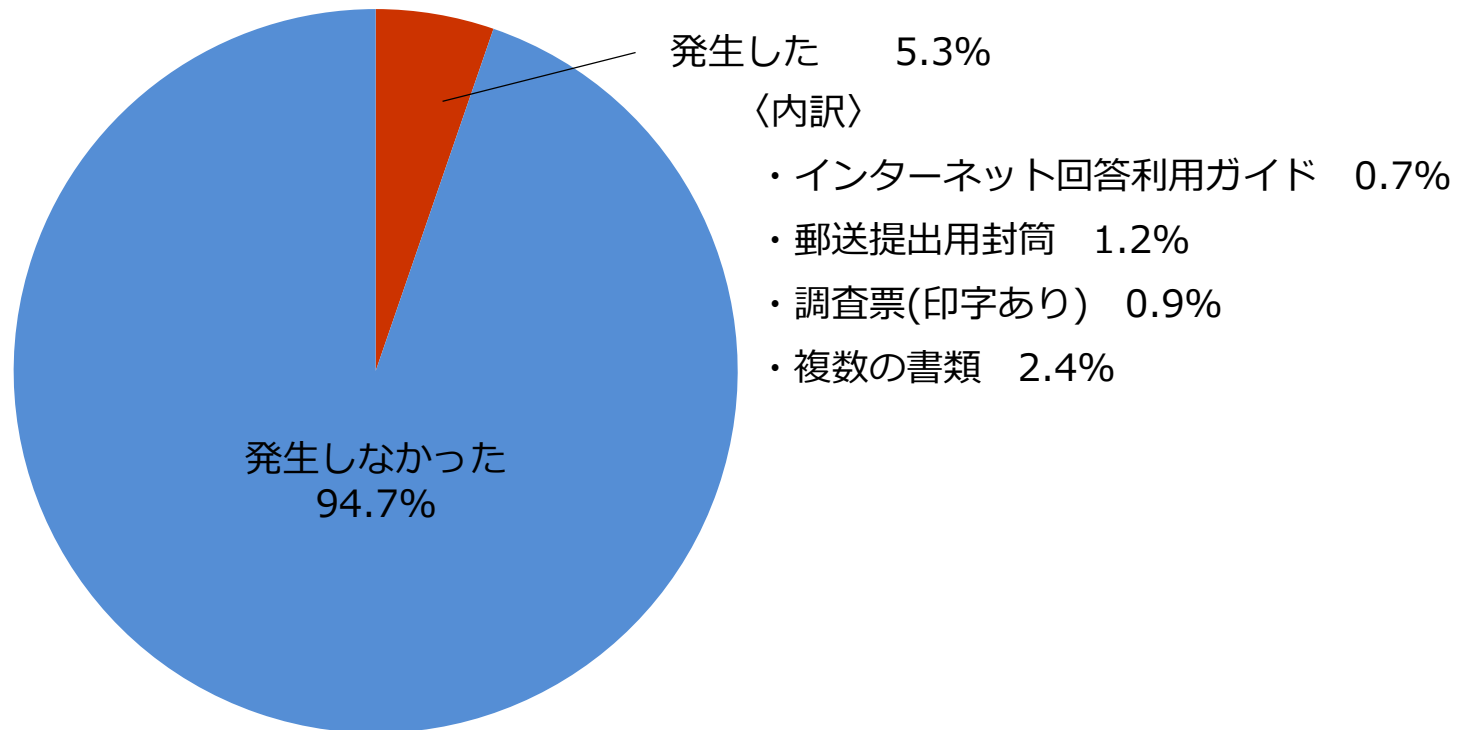


※有効回答数：1,718

調査書類の配布状況

- ・ 前回調査はオンラインIDの先行配布、令和2年調査はオンラインIDと紙の調査書類を同時配布
- ・ 従来からプレプリントしている「郵送提出用封筒」と「インターネット回答利用ガイド」に加え、調査票に「市区町村コード」、「調査区番号」、「世帯番号」のプレプリントを追加
- ・ 配布誤りが発生した調査区は調査区全体の5.3%、前回（10.5%）に比べ減少

調査書類の配布誤りの状況 – 調査区



調査員の事故等発生状況

転倒、咬傷、交通事故等

619件（前回902件）

調査書類、調査用品の紛失等

494件（前回344件）

国勢調査を装った詐欺等

88件（前回335件）

新型コロナウイルス感染者（調査期間中）

31名

※ 世帯に調査活動を通じた感染者や濃厚接触者は生じていない

実施状況報告における主な意見①

調査日程

- 督促状の配布時期を見直してほしい（後ろ倒し）
- 今回同様の審査期間を確保してほしい
（新型コロナウイルス感染症拡大に伴い審査期間を延長）

調査方法

全般

- 調査方法の見直しを検討してほしい（調査の簡素化など）
- マイナンバーの活用を検討してほしい

準備事務

- 調査員の確保が厳しい
- 民間業者への委託を検討してほしい
（郵便局への委託、要図を一括プレプリント等）

調査事務

- 調査を取り巻く環境が厳しい
（不在世帯の増加、プライバシー保護意識の高まり）
- 民間サポート業務が滞っていたので改善してほしい
- インターネット回答について、回答の一時保存、プルダウンでの回答を可能としてほしい

実施状況報告における主な意見②

調査書類・用品

調査票

全般

- 「記入は黒の鉛筆で」を左上に記載してほしい
- 調査票の赤色（ドロップアウトカラー）が薄くて見づらい
- 調査票の文字が小さく、見づらい、用紙サイズを大きくしてほしい
- 連絡先欄が目立たないので上部に書いてほしい
- 1枚あたりの記入可能人数を5人に増やしてほしい
- 三つ折りでの封入は、世帯が見つけづらく、調査票が入っていないとの問合せが多かった

調査員記入欄

- 「世帯の種類」と「住宅の建て方」は世帯回答項目にしてほしい

「10 教育」欄

- 卒業した学校すべてを塗りつぶしている事例が多かった
- 在学中の人のみが回答対象だと勘違いしている事例が多かった

「15 勤め先・業主などの名称及び事業の内容」、「16 本人の仕事の内容」欄

- ネット回答だけでも選択式にしてほしい

実施状況報告における主な意見③

調査書類・用品

インターネット回答利用ガイド

- 調査員による誤配布防止のため、ログイン I D、アクセスキーをインターネット回答利用ガイドではなく、調査票に印字してほしい
- チラシと間違えてしまう、インターネット回答をするための紙だと思わない
- 外国人に分りやすいレイアウトにしてほしい

調査票の提出のお願い（督促状）

- 「本紙と行き違いによりすでに調査票を提出されている場合は ご容赦ください」をもっと目立つようにしてほしい
- 紙面の色遣いや文言が強すぎるため、表現を柔らかくしてほしい
- 外国語版も作成してほしい
- 市町村の連絡先をあらかじめ印字してほしい

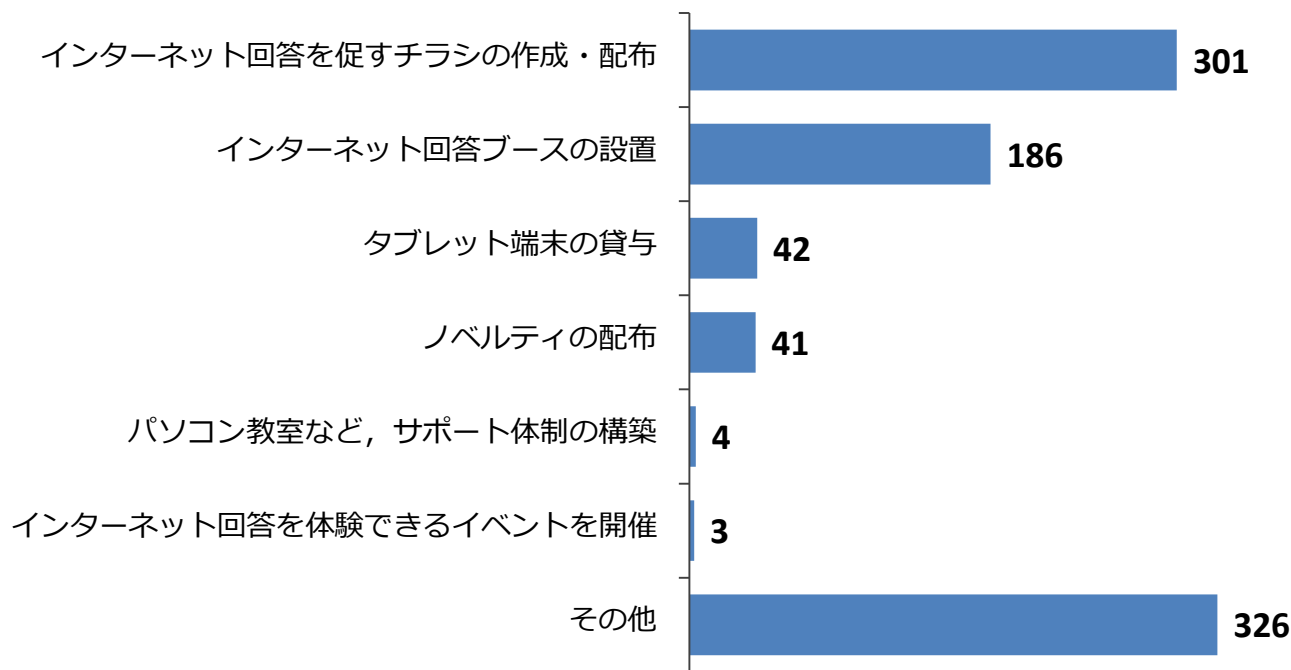
調査世帯一覧

- Excelで作成出来るようにしてほしい
- 文字を記入するスペースが小さい
- 「調査票枚数（回収）」の表記が分かりづらい
- 世帯番号等をあらかじめ印字しておいてほしい

インターネット回答推進状況

- ・ 全ての都道府県及び723市町村でインターネット回答を推進する独自の取組を実施
- ・ 実施した取組のうち、「インターネット回答を促すチラシの作成・配布」が301市町村
- ・ 「その他」には、「広報誌への掲載」、「防災無線での周知」、「自治体職員への周知」など

インターネット回答推進に係る取組実施状況 – 市町村



※複数回答可

国勢調査オンライン アンケート結果

令和2年国勢調査で実際にインターネット回答をした世帯に対し、画面の見やすさ、操作のしやすさ等について、アンケートを実施

回答者の属性

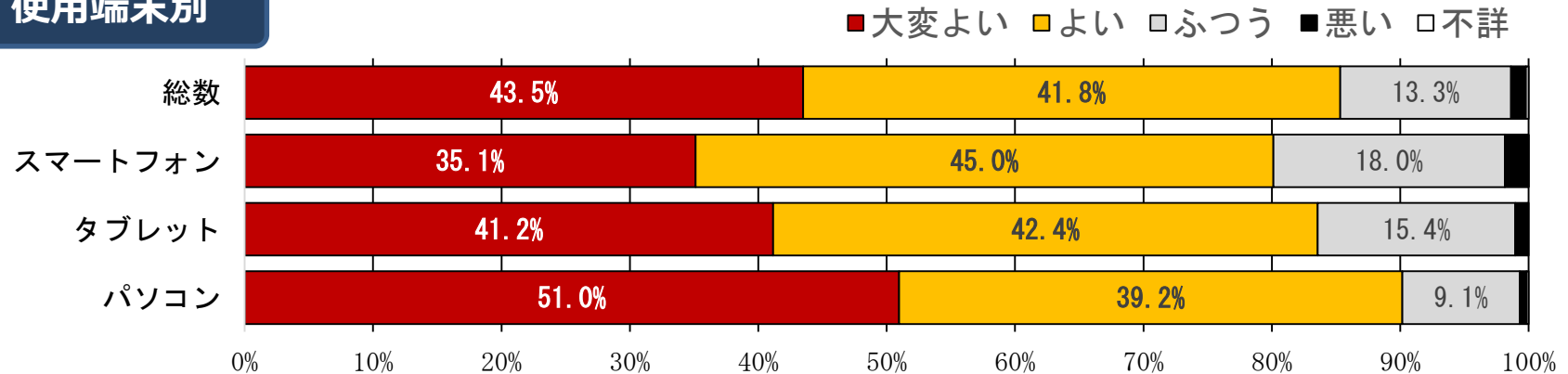
年齢階級	件数	構成比	性別			
			件数		構成比	
			男	女	男	女
総数	2,435,593	100.0%	1,489,147	917,098	61.1%	37.7%
20歳未満	15,405	0.6%	7,772	7,556	50.5%	49.0%
20～29歳	183,281	7.5%	91,162	91,322	49.7%	49.8%
30～39歳	346,701	14.2%	189,639	154,816	54.7%	44.7%
40～49歳	579,498	23.8%	320,684	253,612	55.3%	43.8%
50～59歳	626,511	25.7%	373,358	246,248	59.6%	39.3%
60～69歳	433,673	17.8%	314,367	114,364	72.5%	26.4%
70～79歳	200,249	8.2%	161,337	36,742	80.6%	18.3%
80歳以上	40,125	1.6%	28,463	11,061	70.9%	27.6%

※総数には不詳を含む。

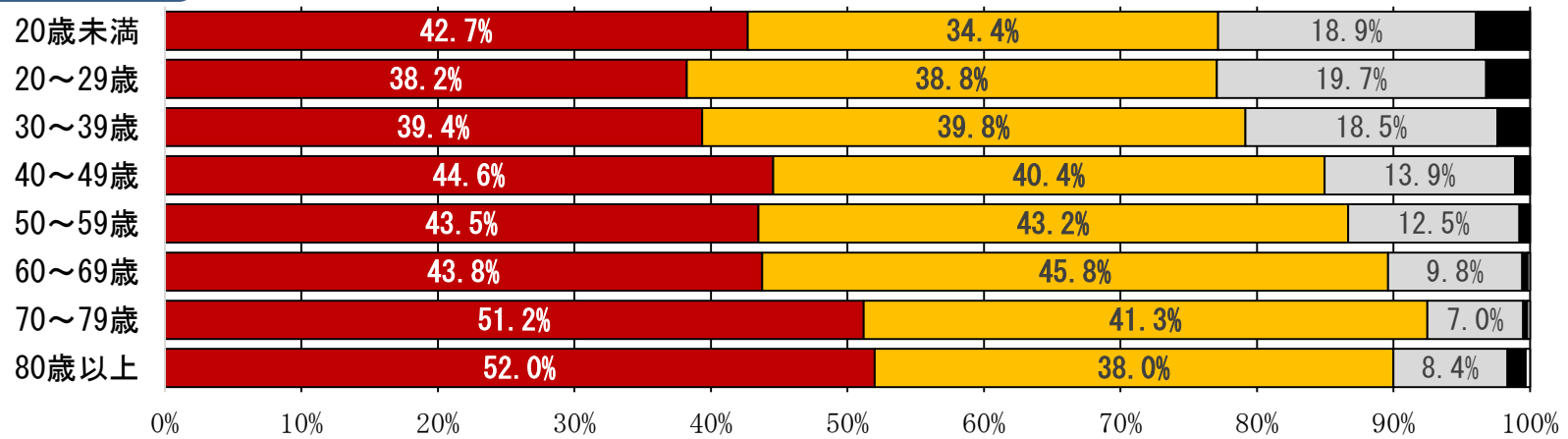
画面の見やすさ

- ・電子調査票の画面の見やすさでは、「大変よい」又は「よい」が85.3%
- ・使用端末別は、「パソコン」が「大変よい」と「よい」を合わせた割合が高い
- ・年齢階級別は、年齢階級の高い世代で高くなる傾向

使用端末別



年齢階級別

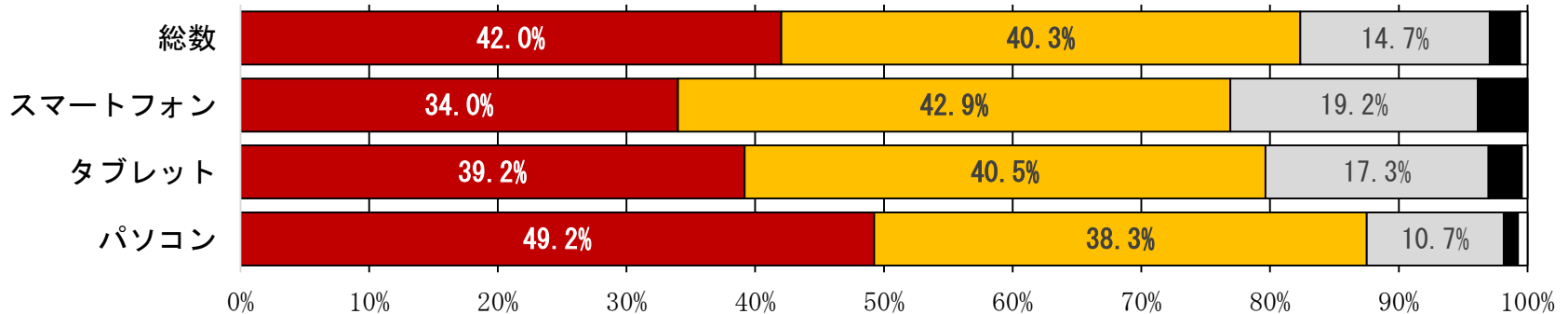


操作のしやすさ

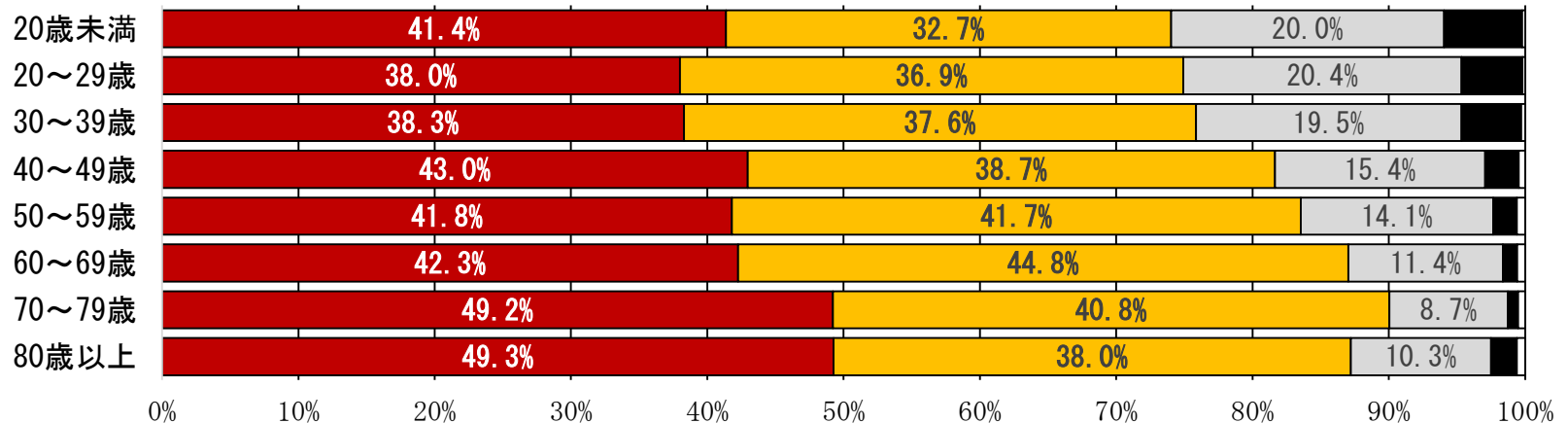
- ・ 電子調査票の画面の操作のしやすさでは、「大変よい」又は「よい」が82.3%
- ・ 使用端末別は、「パソコン」が「大変よい」と「よい」を合わせた割合が高い
- ・ 年齢階級別は、年齢階級の高い世代で高くなる傾向

使用端末別

■ 大変よい ■ よい □ ふつう ■ 悪い □ 不詳



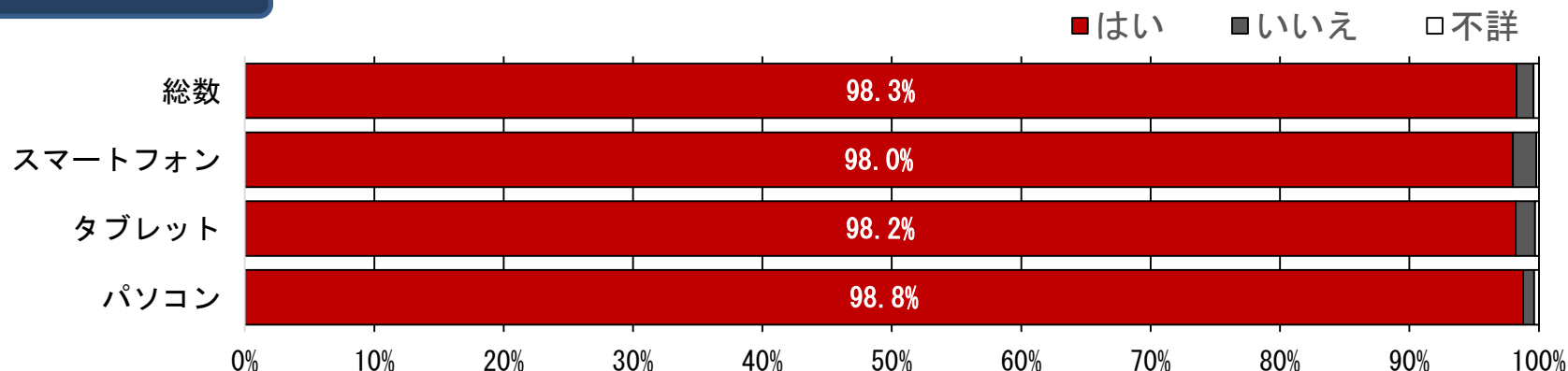
年齢階級別



次回もインターネット回答したいか

「次回調査において再度インターネット回答を利用したい」と回答した世帯が98.3%

使用端末別



年齢階級別

